

レビュー項目 (事業名)	不妊治療支援強化事業				部(局)	保健医療部				
					所管課	健康増進課				
					担当班	保健・栄養指導班				
					連絡先	078-362-9115				
開始年度	令和6年度	終了年度	-	関連計画等	-					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )    実施主体等    県									
事業目的	不妊治療に関し、令和4年4月から保険適用となったが一部の治療方法が保険適用外であること、保険適用回数に制限があること、医療機関の偏在により遠方への通院が必要であること等による経済的負担を軽減し、安心して不妊治療を受けられる体制を整備する。 また、若者世代を対象に、将来の妊娠に向けた健康管理や、早期の不妊治療等について普及啓発を行い、理解促進を図る。									
事業概要	(1) 保険適用外の先進医療費助成事業 ・対象 県内医療機関で先進医療を受けた夫婦(妻の年齢が43歳未満) ※事実婚を含む ・助成額 1回(胚移植までの1クール。以下同じ。)あたり3万円(回数制限なし) (2) 先進医療にかかる通院交通費助成事業 ・対象 本人(同行者は対象外) ・助成額 1回の治療にかかった通院交通費の合計額から5,000円を控除した額の1/2以内 ・対象手段 鉄道運賃、特急料金、バス、自家用車、高速道路料金 (3) 2世代へのプレコンセプションケアの推進事業 県内の高校生及び大学生を対象に妊娠・出産を含む健康についての出前講座などを実施。									
令和6年度当初予算	205,700	千円	(国庫)	0千円;	(特定)	205,700千円;	(起債)	0千円;	(一般)	0千円
評価	指標名	5年度見込	6年度目標	7年度目標	最終目標【年度】	設定の考え方				
	成果指標(アウトカム指標①) 不妊治療(先進医療)助成件数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	-	3,000	3,000	3,000【毎年度】	【設定の考え方】 経済的負担が軽減された人数 【目標数値の考え方】 特定不妊治療費助成事業のR3年度実績並				
	成果指標(アウトカム指標②) 先進医療費等の助成を受けた患者のうち、経済的負担が軽減され、安心して不妊治療を行うことができた割合(アンケート実施)	-	100%	100%	100%【毎年度】	【設定の考え方】 安心して不妊治療を受けられる体制の満足度 【目標数値の考え方】 助成を受けた患者全員が安心して不妊治療を実施				
	成果指標(アウトカム指標③) 出前講座を受講した学生のうち、プレコンセプションケアに関する理解が高まった方等の割合(アンケート実施)	-	100%	100%	100%【毎年度】	【設定の考え方】 プレコンセプションケアに関する理解度 【目標数値の考え方】 受講者全員の理解向上				
	成果指標(アウトカム指標④) プレコンセプションケア出前授業の参加人数	-	2,450人	2,450人	2,450人【毎年度】	【設定の考え方】 プレコンセプションケアに関する普及の参加人数 【目標数値の考え方】 各学校1クラスに出前授業を実施(県内高校1クラス平均35人×70回)				
	活動指標(アウトプット指標①) 不妊治療等に関する事業の広報資料の配布箇所	-	400	400	400【毎年度】	【設定の考え方】 不妊治療等に関する事業の広報資料の配布箇所数 【目標数値の考え方】 婦人科等を有する県内医療機関(359施設)や各市町(41市町)に広報資料を配布				
	活動指標(アウトプット指標②) プレコンセプションケア出前授業の実施回数	-	70	70	70【毎年度】	【設定の考え方】 プレコンセプションケアに関する普及の実施回数 【目標数値の考え方】 3年間で1回は受講できるよう県内高校約210校を3年間で回る。				
	終期設定	有・無(下記改善基準に基づき見直しを実施)								
改善基準	国の保険適用医療の拡大状況、執行実績等を踏まえ、見直しを検討									
外部委員会意見										
見直し結果										